

# 2010年度の重点政策と予算

## 重点政策 45事業に1110億円

## 2010年度予算総額 3,109億円

### 新年度「福山発」の重点政策

将来都市像「にぎわいしあわせ あふれる躍動都市」ばらのまち 福山」を実現するためには、市民が主役のまちづくりを進めていくことが何よりも大切です。この「協働のまちづくり」の精神のもと、これまでの取り組みの成果をベースに、「福山発！」として誇れる取り組みをさらに深め、全国に発信します。



企画画課(☎928・1012)

## 教育

すべての児童・生徒の確かな学力と豊かな心を培うため、少人数指導推進支援に取り組みとともに、発達障がいのある児童・生徒が生き生きとした学校生活を送ることができるよう特別支援教育体制の推進に努めます。また、子ども市政参画事業については、地域や社会などへの関心が高まるよう、引き続き子ども議会を開催します。

(仮称)福山市立大学については、計画通り建設工事が進んでおり、全国から多くの受験者が集まるよう、PRや広報活動に努めます。また、歴史的な町並みについては、伝統的建造物の老朽化が著しく、本格的な修理を早急に実施する必要があるため、単市の補助事業として、保存に取り組みとともに、早期の重要伝統的建造物群保存地区の選定をめざし、取り組みます。

施策(事業)名	事業費
少人数指導推進支援	1億1,599万円
特別支援教育体制推進事業	8,790万円
四年制大学の設置	29億2,946万円
鞆地区町並み保存	3,859万円
北京市教育交流推進事業	431万円
子ども市政参画事業	14万円
計 6 件	31億7,639万円



(仮称)福山市立大学イメージ図

## 環境

地球温暖化を防止するため、住宅用太陽光発電システムや太陽熱利用システムの設置者への補助の拡大を行うとともに、河川などの浄化対策として合併処理浄化槽設置の補助に取り組みます。環境にやさしく健康づくりにもなる自転車の利用を促進するほか、耕作放棄地の再生・活用にも取り組みます。

施策(事業)名	事業費
温暖化対策事業(スクラムふくやま☆エコトライ 2nd)	5,666万円
太陽エネルギー導入推進事業	4,600万円
河川等浄化対策事業	2億 170万円
自転車利用の促進	255万円
耕作放棄地再生活用モデル地区支援事業	800万円
計 5 件	3億1,491万円



住宅用太陽光発電システム

## 協働

魅力あふれるまちづくりを進めるため、地域活動を通して魅力ある地域資源を的確に見出し、財産として大切に育てることができるよう地域づくりに取り組みます。地域ポイント制度については、参加しやすく魅力ある活動を加えるなど、対象事業の拡大を進めます。また、引き続き地域活動や市民活動を担うリーダーの人材育成に努めます。

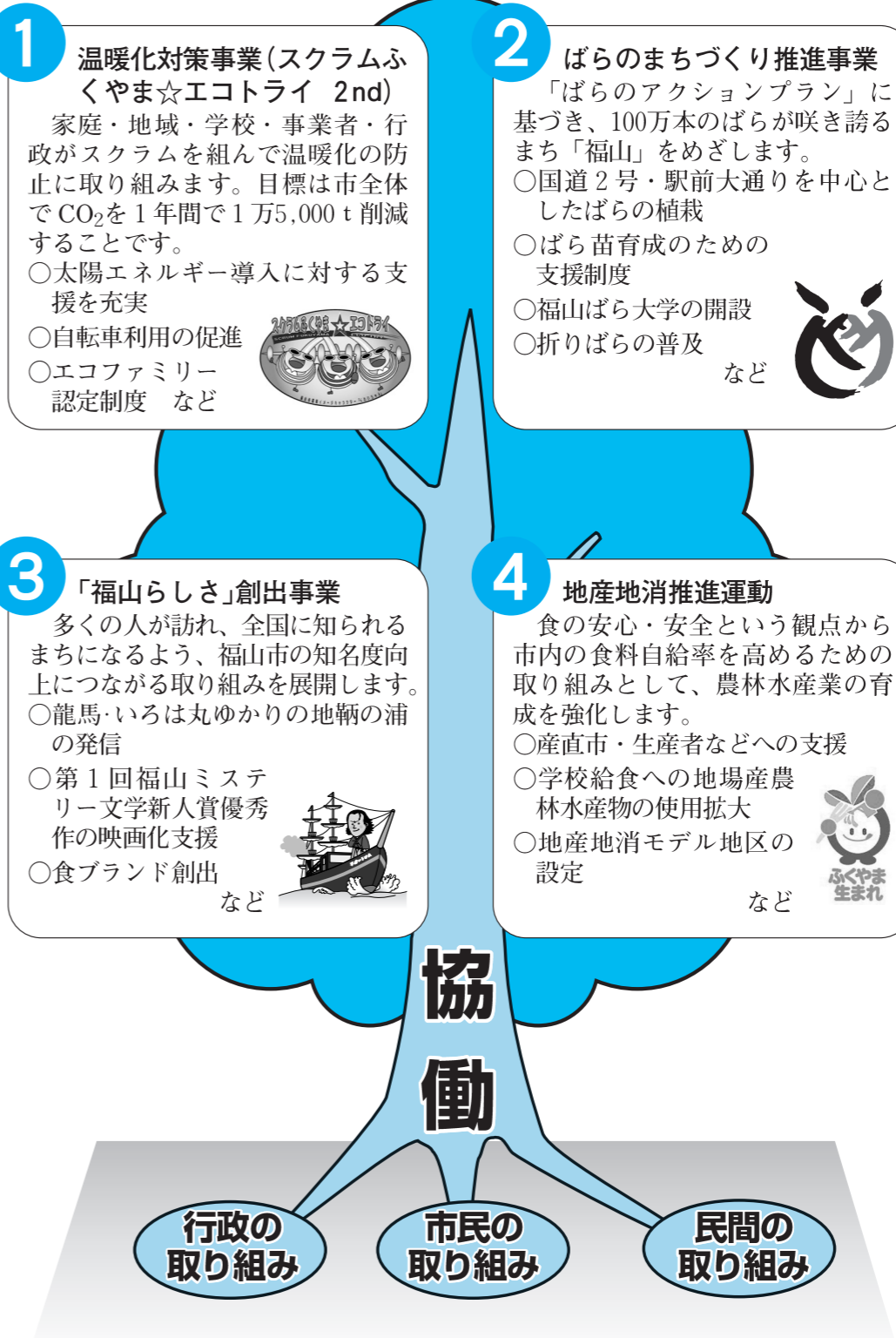
施策(事業)名	事業費
ばらのまちづくり推進事業	619万円
協働のまちづくり推進事業	190万円
地域ポイント制度(まちづくりパスポート事業)	119万円
計 3 件	928万円



## 行革

施策(事業)名	事業費
行財政改革の推進	-
計 1 件	-

多種多様な市民ニーズへ対応するため、引き続き経営的視点での行政活動の推進や行政体制の確立、市民との協働によるまちづくりの推進など、集中改革プランの着実な実施に取り組みます。また、2011年度以降の行財政改革大綱のあり方を検討するとともに、2012年度からの第四次福山市総合計画後期基本計画の策定にも取り組みます。



# 活力

にぎわいあふれ、拠点性と求心力を備えた50万都市となるため、福山駅周辺整備や、幹線道路網・港湾の整備に取り組みます。鞆地区道路港湾整備事業は、現在ある鞆の浦の歴史・文化の将来への継承や鞆町の再生・活性化を推進する上で重要であり、一日も早く鞆町の再生・活性化のための取り組みを、県と連携しながら進めていきます。また、地域発展の源となるものづくり企業への支援を通じて、地場産業の活性化に努めます。生活バス交通の利用促進については、低床バスに対する助成やバスの接近表示システムの導入などに取り組みます。

施策(事業)名	事業費
鞆地区町並み保存(再掲)	
鞆地区道路港湾整備事業	4,954万円
鞆地区まちづくりの推進	-
福山駅周辺整備事業	26億9,580万円
「福山らしさ」創出事業	8,181万円
ものづくり等人材育成事業	450万円
赤ちゃん訪問事業	1,460万円
保育所等における子育て支援事業の充実	1億3,073万円
保育所再整備	4億1,171万円
生活バス交通利用促進対策事業	4,301万円
広域交通体系の整備と物流機能の強化	6億6,600万円
地産地消推進運動	1,430万円
農業基盤整備事業	1億5,862万円
耕作放棄地再生活用モデル地区支援事業(再掲)	
計 12 件	42億7,062万円

施策(事業)名	事業費
高齢者おでかけ支援事業	1,500万円
(仮称)療育センターの整備	83万円
障がい児通園施設利用者負担軽減事業	349万円
特別支援教育体制推進事業(再掲)	
「食育」の推進	112万円
計 4 件	2,044万円



高齢者おでかけ支援事業

# 福祉

発達障がいにより支援を必要とする児童が増えている中、子どもとその家族が地域で安心して暮らすことができよう、早期発見・早期支援の拠点施設となる(仮称)療育センターの整備に向け、県や周辺市町と連携して取り組みます。高齢者おでかけ支援事業では、モデル地域をさらに4学区増やし、高齢者が積極的に社会参加できるよう努めます。

# 安心・安全

夜間における一次救急患者受入体制を整備するため、(仮称)救急支援診療所の新設に取り組み、地域医療の充実に努めます。小・中学校の耐震化に引き続き取り組むほか、橋りょうの修繕・架け替えのための計画策定、災害時要援護者個別の避難支援プラン策定などにも取り組みます。また、児童・高齢者の虐待防止や自殺対策に、関係機関とも連携をとりながら、取り組みます。

施策(事業)名	事業費
病院施設整備事業	3億8,073万円
⑩(仮称)救急支援診療所整備事業	3億9,034万円
消防・救急体制の整備	4億8,171万円
水道施設の耐震化事業	4億6,982万円
小・中学校の耐震補強等整備事業	7億2,710万円
災害時要援護者の避難支援対策	106万円
水道未普及地域解消事業	8,336万円
⑩出原浄水場更新事業	1億8,001万円
子どもと地域の安心安全対策推進事業	449万円
交通安全対策推進事業	330万円
歩道整備事業	1億6,800万円
交通施設バリアフリー設備整備費補助等事業	-
⑩深津市営住宅整備事業	3億2,782万円
⑩人として大切にされる社会の実現	449万円
計 14 件	32億2,223万円

# その他の新規事業

第四次福山市総合計画に掲げるまちづくりの基本目標に沿って、重点政策で挙げたもの以外の主な新規事業を紹介します。

**だれもが安心して安全で快適に暮らせるまち**  
(安心・安全・環境)

**子どもが健やかに育ち、だれもが健康でいきいきと暮らせるまち**  
(保健・福祉・医療)

○子ども手当…中学校修了までの児童に児童手当とあわせて月1万3,000円を支給  
48億6,850万円  
○教育等支援事業…生活保護世帯における子どもの健全育成支援

○特別養護老人ホーム施設建設費補助  
555万円  
○障がい者保健福祉計画策定  
6億7,240万円  
365万円



**多様に学び、文化をほぐくむまち**  
(教育・文化)

○日韓囲碁対局実行委員会負担金…日韓棋士による囲碁対局  
240万円  
○ふくやまの歴史伝承…「広報ふくやま」の連載記事「歴史散歩」の刊行化  
189万円

**産業の力みなぎる活力とくまびわのあまなち**  
(活力・交流)

○商店街活力向上事業費補助…空き店舗の改造、商店街活性化イベントなどの支援  
250万円  
○住宅手当緊急特別対策事業…離職者に対する住宅確保支援  
5,521万円  
○ふるさと雇用再生事業…生活バス活性化対策支援事業、観光資源保全事業、観光魅力創出事業ほか  
1億1,448万円

**市民とともにこころを自立したまち**  
(協働・行革)

○地域福祉計画策定  
243万円  
○地域福祉推進…モデル地域で地域福祉活動を推進  
496万円

# 合併建設計画

内海町▽西部地区の漁業集落排水施設整備▽横田漁港の漁業集落環境整備▽市道改良▽港湾整備  
上水道の整備  
新市町▽(仮称)新市中央公園整備▽農村振興総合整備▽市道改良・補修▽下水道の整備 など  
沼隈町▽市道改良▽交通安全施設整備▽急傾斜地崩壊対策▽防災行政無線整備▽下水道の整備▽農村振興総合整備 など  
神辺町▽(仮称)神辺斎場整備▽市道改良▽下水道の整備▽農村振興総合整備▽神辺支所整備 など

# 競馬事業



これまで単年度収支の均

衡を基本に、事業運営に取り組んできました。2010年度は、賞典奨励費の見直しを継続する中で、魅力あるレースの実施と馬資源確保対策に加え、さらなる他場連携の拡大による売得金の確保に取り組みます。なお、今後のあり方については、福山市地方競馬検討委員会の答申を踏まえる中で、総合的に判断してまいります。

用語説明

**一般会計**…民生費、土木費、教育費など、地方自治体の行政運営の基本的な経費を経理する会計  
**特別会計**…下水道事業や国民健康保険など、特定の事業を行う場合に、一般会計と区分して経理するために設けられる会計  
**企業会計**…病院事業、水道事業など地方公営企業法の適用を受けて経理をする会計(歳入)  
**国庫支出金**…国から使用目的を特定して交付されるお金  
**地方交付税**…所得税など国税収入の一部が交付される、使用目的が特定されないお金  
**市債**…公共施設の整備などのため市が長期に借り入れるお金

**県支出金**…県から使用目的を特定して交付されるお金  
**地方譲与税**…自動車重量譲与税など国税から分配されるお金(歳出)  
**民生費**…生活の安定や福祉の向上のためのお金  
**土木費**…道路・公園などを建設するためのお金  
**教育費**…学校教育や社会教育の振興のためのお金  
**総務費**…窓口サービスや市役所の管理運営のためのお金  
**衛生費**…健康を守るためやごみ処理のためのお金  
**商工費**…商工業の発展のためのお金  
**消防費**…災害対策などのためのお金  
**農林水産業費**…農業・林業・漁業の発展のためのお金  
**労働費**…労働者のための各種施設管理などに使われるお金

2010年度当初予算			
会計名	当初予算(円)	増減率(%)	
一般会計	1,691億5,500万	6.1	特別会計
都市開発事業	9億800万	△8.6	
下水道事業	170億7,900万	△31.3	
集落排水事業	9億600万	28.4	
競馬事業	88億4,000万	△3.8	
国民健康保険	458億1,900万	0.9	
介護保険	295億3,000万	4.7	
後期高齢者医療	49億7,300万	23.6	
老人保健	6,500万	△36.5	
食肉センター	1億5,100万	△8.4	
駐車場事業	3億8,400万	△1.6	
商業施設	3億3,700万	2.4	
母子寡婦福祉資金貸付	1億3,700万	11.4	
誠之奨学資金	6,300万	14.0	
財産区	5,600万	△2.1	
特別会計の計	1,092億4,800万	△4.7	企業会計
病院事業	143億1,400万	8.6	
水道事業	147億1,700万	△1.1	
工業用水道事業	34億7,700万	△11.0	
企業会計の計	325億800万	1.7	
特別・企業会計の計	1,417億5,600万	△3.3	
合計	3,109億1,100万	1.6	

新年度予算



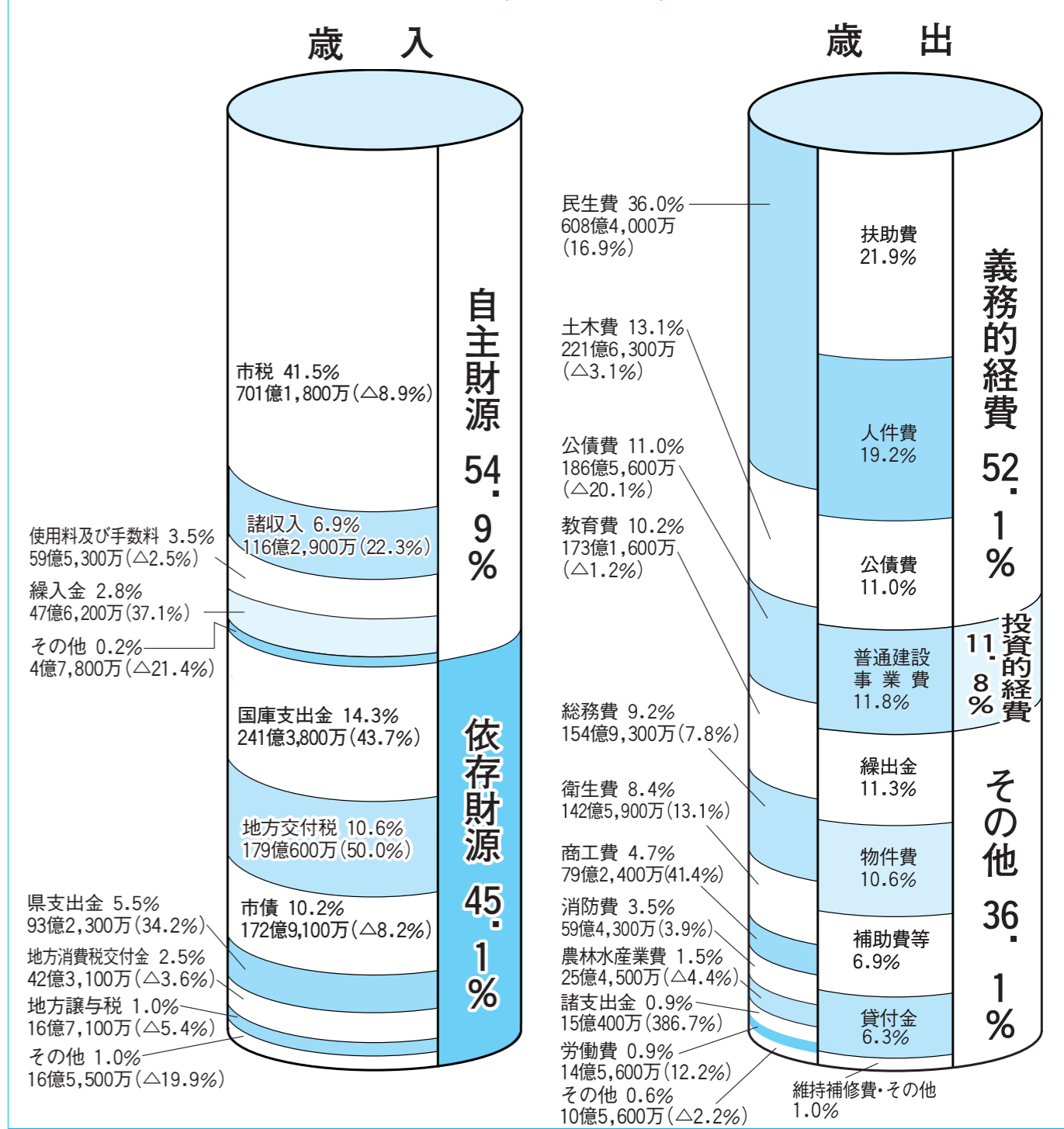
一般会計は1,691億円、特別・企業会計は1,418億円、総額で3,109億円です。

一般会計の歳入については、市税は、法人・個人市民税をはじめ市税全体で8.9%と、かつてない大幅な減少を見込んでいます。地方交付税や臨時財政対策債の増加を見込むほか、財政調整基金からの繰入金などで財源確保に努めたところですが、財政状況は非常に厳しい状況です。

歳出は、義務的経費が3%の増、投資的経費は汚泥再生処理施設建設や(仮称)福山市立大学建設事業の進捗などにより18%の増となりました。この結果、予算規模は、前年度当初予算と比べ、一般会計で6.1%の増となりました。

問 財政課 ( ☎ 928・1014 )

一般会計 1,691億5,500万円 ( )は増減率



4月1日から

市の組織が変わります

生涯学習体制の充実

まちづくり推進のために、生涯学習に係る部署を一元化します。  
 ・人権推進部をまちづくり推進部とし、生涯学習に係る諸施策の企画・立案や総合調整を行う生涯学習課を新設します。  
 ・各ブロック社会教育センターは、各生涯学習センターとなり、各ブロック社会教育センターおよび各ブロック人権啓発担当の業務は、各生涯学習センターで行います。

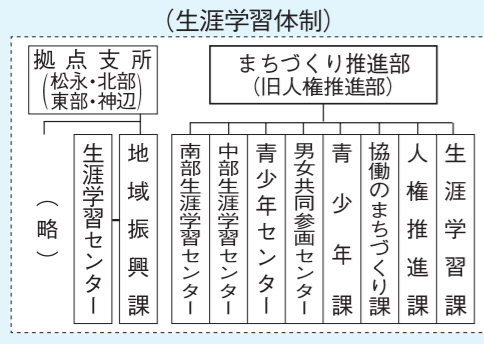
農林水産行政の体制整備

農政課を農林水産行政の総合的な調整などを行う農林水産課に、農業振興課を地産地消の推進などを行う地産地消推進課に名称変更します。  
**道路・都市基盤整備の体制**  
 街路に係る業務を道路建設課で、市街地再開発や土地区画整理に係る業務を都市整備課で、川南土地区画整理事業に係る業務を川南まちづくり課で行います。

窓口の移転

○指導課に教科指導と中高一貫教育を行う教科指導担当課長を配置  
 問 総務部総務課 ( ☎ 928・1008 )  
 ○農林水産行政の体制  
 JAS法・農薬取締法・肥料取締法に関する業務などは農林水産課(本庁舎内)、地産地消推進および耕作放棄地対策に関する業務、栽培および営農・就農相談は地産地消推進課(本庁舎内)で行います。  
 問 農林水産課 ( ☎ 928・1031 )、地産地消推進課 ( ☎ 928・1242 )  
 ○南部生涯学習センター  
 沼隈支所内に移転します。  
 問 南部生涯学習センター ( ☎ 980・7713 )  
 ○大学設置準備室  
 女子短期大学内に移転します。  
 問 大学設置準備室 ( ☎ 928・1044 )

生涯学習体制



○(仮称) 福山市立大学の開学に向け、大学設置準備室に学務担当課長を配置  
 ○母子健康手帳の交付を、健康推進課(保健センター)においても実施  
 ○沼隈支所の庶務・地域づくり担当を庶務担当に名称変更  
 ○深津市宮住宅整備のため営繕課の体制を充実